

令和5年11月20日

鳥取市議会議長 西村紳一郎 様

議会広報委員会
委員長 加藤 茂樹

令和5年度鳥取市議会 議会報告会・意見交換会報告書

このことについて、開催状況等の取りまとめを行いましたので、次のとおり報告します。

1 開催概要について

- (1) 日時 令和5年10月29日(日)13時30分～15時30分
- (2) 場所 鳥取市役所本庁舎7階本会議場ほか
- (3) 参加者 市民20名、議員32名
- (4) 日程
 - ①開会
 - ②議長あいさつ
 - ③議会報告
 - ④意見交換(ルール説明、意見交換、発表)
 - ⑤アンケート
 - ⑥閉会

(5) 意見交換テーマ

メインテーマ「未来へつなぐまちづくり」

- ① SDGs未来都市について
 - ② 滞在型観光について
 - ③ 鳥取駅周辺の賑わい創出について
 - ④ 未来に向けての公共交通について
- (6) 会場の様子

議長あいさつ



議会報告



意見交換



発表



2 議会報告会について

意見交換会の時間を確保するため、議会報告は15分程度とし、令和5年度予算と令和4年度決算について各審査特別委員会の委員長報告で取り上げた内容について報告しました。

3 意見交換会について

当初8班の計画でしたが、参加人数の関係で4班で実施することとしました。

班編成は、参加者の希望テーマに応じた班分けとし、議員については、担当する常任委員会が出したテーマでの配置を基本に班分けを行いました。

意見交換の進め方は、進行役議員を中心に話しやすい雰囲気作りに努め、ホワイトボードや模造紙、付箋を活用しながら行いました。

参加者からは日常で感じている事柄などを直接聴くことができ、さらに改善するための提案などをいただき、大変有意義な会となりました。

4 今後の課題について

参加人数が目標としていた30名に対して20名と少なかったため、今後、開催方法や周知方法など改善に向けて検討する必要があると考えます。

意見交換会の時間が短いというアンケートの回答が多数ありました。また、意見交換会のテーマごとの討議資料を参加者へ配布してほしいという意見も寄せられており、今後改善が必要です。

5 意見・要望等について

意見交換でいただいた意見・要望等については、各常任委員会で議論し、特に重要と思われる意見・要望については、執行部に伝達し、その内容はホームページに掲載します。

添付資料

- ① 令和5年度鳥取市議会 議会報告会・意見交換会報告書（4テーマ「4班」）
- ② 令和5年度議会報告会・意見交換会アンケート集計

「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

テーマ	SDGs 未来都市について
担当議員名	浅野 博文、中山 明保、星見 健蔵、岩永 安子、西村 紳一郎 寺坂 寛夫、加嶋 辰史
意見・要望等	<p>○住み続けられる町としての整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風第7号による水田に流入したゴミは産業廃棄物として、土地所有者の処分するものと扱われたが、災害ゴミの始末への支援を考えてほしい。 ・防災計画のうち避難所については、食料や飲料水の配給など最低限の公助の在り方を考えてほしい。 ・高齢者の営農の継続のための農業用水路の整備、防火用水の確保、に困り感がある。 <p>○地産地消の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の流通について、既存の実践事例(飲食店と生産者の提携など)取り組まれている内容を高齢者にも分かるような情報提供を求める。 ・企業団体が高校生から受けた要望であるフェアトレードの認知度向上に、鳥取市も協力されたい。鳥取市がフェアトレードタウンを宣言してはどうか。 ・地域内の経済的循環の体制を支援し、確実なる経済効果の改善を求める。 <p>○鳥取市のまちづくりと活性化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生のアイデアを参考にすることや、ビジネスマッチングの促進が必要である。 ・鳥取の名産を紹介するグランピングなど、交流人口増加を求めているかどうか。 ・civic pride を確立して市民性を出し、SDGs にも影響する市民意識の醸成を図られたい。 ・既存施設を最大限利用する方針として、市民が鳥取市を誇れる環境にすることが、鳥取の未来の都市づくりと考える。 <p>○関係人口を増やし、交流を深めていく政策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代の多くの人が、より繋がるようなイベントの開催と、呼び

	<p>込むための広報を SNS などを活用して努めてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生や若者と協働出来る取り組みを推進するなど、興味関心から行動に移せない人のため、今後は行政には自主性を活かすようなソフト面の充実を図ってほしい。 ・合併後の新市域や中山間地のイベントを盛り上げるために、市がマイクロバス送迎を支援してはどうか。 ・公立環境大学の研究室が外の組織との繋がりが薄れているように感じる。 ・各集落既存のグループを外部(学生など)と繋げてみてはどうか。
<p>所 見</p>	<p>SDGs をテーマに多岐に渡り、参加者から要望だけでなく熱意ある意見を頂きました。時間いっぱいまで、議員との活発な議論が展開されました。この度は、市民の前向きな言葉を聞ける機会を作り、有意義な意見交換の時間となりました。</p>



「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

<p>テーマ</p>	<p>滞在型観光について</p>
<p>担当議員名</p>	<p>石田憲太郎、吉野 恭介、岡田 信俊、柳 大地、平野 真理子、 秋山 智博、坂根 政代、谷口 明子、米村 京子</p>
<p>意見・要望等</p>	<p>○参加者からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂丘の利用/コンテンツ作り…滞在時間の増加、幅を広げる→人づくりも必要 ・キャッシュレスの推進…観光客の満足度向上 ・点と点のつながり…観光地が線になっていない→観光地同士の協力や情報まとめ ・海がきれい/魚が安いうまい…外に伝わっていない→情報発信の重要性 ・目玉や目立つものがない…砂丘に次ぐコンテンツ不足 ・宿不足…主要施設周辺に宿泊施設がない ・中心市街地…中心地へ行く理由やコンテンツがない ・夜間コンテンツ…圧倒的に少ない。人が集まる仕組み不足。 ・コンテンツの幅…お香、温泉の活用、酒蔵、農業体験(農家マッチング)、林業、和紙、陶芸、森の幼稚園など、実は意外に面白い <p>○ディスカッション（上記の意見を受けて） -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光の拠点になる場所や人物の整備が必要 ・拠点にはコンシェルジュなどがいて、各方面（宿泊・アクティビティ）をつなぐ必要がある。 ・結局、行政・民間ともに人材に尽きる。どのように人物を獲得（育成）していくか ・大きな補助金を一発というより、人材の育成に力を入れた補助金を用意してほしい ・情報発信の際には、外からどう見えているかを大切に。

所 見

本グループでは滞在型観光を促すために、どのように情報を集約・発信していくかという内容が話し合われた。点在しているコンテンツ（砂丘などの自然観光・アクティビティ・食・伝統文化）などをつなぎ合わせ、宿泊や移動手段も含めたトータルのコーディネートが求められ、その中心となるコーディネーターやコンシェルジュの人材育成が急務である。

行政としては一度のイベントに大きな補助金を出すだけではなく、上記のような人材獲得や育成に対し予算をつけていくことが、長期的視点で地域をつくっていく上で重要な施策だと感じた。また、情報発信に関しても内からの視点ではなく、外からどう見られているかを再認識することで、情報の発信方法が大きく変わってくるのではないかという市民からの指摘に強く共感した。



「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

<p>テーマ</p>	<p>鳥取駅周辺の賑わい創出について</p>
<p>担当議員名</p>	<p>勝田鮮二、玉木裕一、水口誠、雲坂衛、伊藤幾子、上杉栄一、金田靖典、西尾彰仁</p>
<p>意見・要望等</p>	<p>○ハード面について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取駅に自動改札がない、駅のリニューアルが必要だ。 ・鉄道公園を駐車場にしてはどうか。 ・駅前で営業しているが、従業員20人で1万円/人/月高価20万円かかる。駅前周辺で働く人のため、安価な駐車場確保が必要だ。 ・本通りに駐車して、買い物ができるようにしてほしい。国道を市道化し駐車可能スペースの確保してほしい。 ・駅前開発を企業とコラボ、若い人とやっ払いこうというのは、新鮮に感じる。 <p>○空き店舗について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャッター商店街、若い人が出店しやすい取り組みは、どうなっているのか。 ・小さな店を増やし、人口を増やすことは重要。旧本庁舎側の移住増対策が必要ではないか。 ・まちなか回帰は、住民の意識を変えていかないといけない、対策はあるのか。 ・商店街で個性的な店をしているのは若い人だ。ウォーカブルなまちづくりを掲げているが、それには特色あるまちづくり、店づくりが必要だ。 ・シャミネ2階の利活用してはどうか。 <p>○催し、イベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックビューイングなど、人が集まり交流できるようなイベントや場所が必要。 ・昭和の建物が残っていて、おもしろい。寺院も多くあり、ウォーキングできるようなルートをつくり、街歩きの楽しさで人を呼び込めないか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォールペインティングや宝探しのようなイベント、ワークショップなど、ちょっとしたことから始めたらどうか。 <p>○文化・芸術・食について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・{食のみやこ} {民芸} {まんが王国} 色々あるが、行くにしても探さないとたどり着かない。すぐにたどり着けるようにしてほしい。 <p>○観光について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賑わいには観光が重要。県・市・観光コンベンション・商工会・市民と一緒に進めることが必要。そして、市民の心の醸成・市長の覚悟が重要だ。 ・愛媛県大洲氏では、銀行を巻き込み、若い人に任せてやっている。市民を巻き込んだものにしないと、市主導では響かない。 ・シャッターに漫画を描く、店が販売終了すればシャッターを閉めるわけだから、夜しか見られない、滞在型観光につながると思うがどうか。 ・本市は、谷ロジロー氏だが著作権が高い。境港市が成功したのは、鬼太郎を自由に使って良い、ということがあり、様々なアイデアで誘客増につなげていると思うが、どうか！ <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政は発信・広報が下手だ。もっと工夫しないと市民意識が醸成されない。 ・市役所に相談に行くと縦割り行政で、たらい回しにされる。 ・小・中学校に、このテーマをだし、考えてもらってはどうか。想像がつかないような意見やアイデアがでてきて面白い。 ・鳥取駅の乗降者数はどうなっているのか。高校生を除くと、駅として成り立っていないのではないか。 ・ランドマークになるような集客施設が必要だ。
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者それぞれが、日頃感じていることや提案など積極的に発言され、良かったと思う。 ・出たところ勝負も良いとは思いますが、1時間しかないので、意見交換のイメージ像を議員側が持っておく方がいいのではないかと思います。 ・市民の皆さんそれぞれ、自分の意見や考えを持っておられ、鳥取市民として、しっかりとしたビジョンを持って発言されておられ良かったです。 ・時間が少し短かったので、前もって内容を考えて来ていただけたら、もう少し深く話し合い（意見交換）が出来たのかな?!と思う。 ・開催案内をもっと周知して、たくさんの市民の参加を募る。 ・市民にとっても議員にとっても生の声を聞く機会は貴重なので、開催

回数を増やして、より多くの方との意見交換の場を設けることも良いのではないかと思います。



「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

テーマ	未来に向けての公共交通について
担当議員	足立 考史、太田 縁、吉田 博幸、砂田 典男、長坂 則翁、岡田 実、魚崎 勇
意見・要望等	<p>1. 現状及び問題点</p> <p>(1) 運転手不足問題について</p> <p>◎公共交通の自動運転化が一つの解決策としてレベル3（条件付運転自動化：限定された条件下において、自動運転システム稼働中であっても常に運転手が操作できる状態）で実証実験がなされ、いろいろな問題点が出てきた。来年予定されている自動運転バスの実証実験は、レベル4（高度自動運転化：限定された条件下においてシステムが全ての運転操作を実施でき、ドライバーが運転席を離れることが出来る）の検証がなされる。何年先に運用できるか心配している。</p> <p>◎自動運転化の早期の実用化を目指し、鳥取モデルとして先進的な価値の創造に取り組んではどうか。</p> <p>(2) 公共交通について（なぜ、市民は公共交通を利用しないのか）</p> <p>◎県外の都市部からの移住者された当初は、JRを電車感覚で利用し始めたが、当時、路線バスの情報が得にくく、利用しにくかった。</p> <p>◎バスの運行が時刻通りではない、時間が読みづらいためバスを利用する気持ちにならない。</p> <p>◎バスが今どのあたりを走行し、後何分待てば来るのかという情報があれば、利用しやすくなる。</p> <p>◎JR・路線バスは鳥取駅が拠点となっているため、横展開に対応できず不便である。（例：若葉台から叶方面行）</p> <p>◎バス路線廃止地域の公助交通（オンデマンド）では、公共交通の接続点までの運行エリア規制があるため、病院などの目的地まで延長できるように改善してほしい。</p> <p>◎観光客にとっても観光地から観光地への移動が不便である。（例：砂丘から浦富への移動など）</p> <p>(3) とりモビについて</p> <p>◎スマホが使いこなせれば大変便利な移動手段となる。</p> <p>◎市内全域に普及すれば高齢者の移動には大変便利と思う。</p>

	<p>◎利用地域を拡大してほしい。</p> <p>◎横展開への交通網が充実すると思う。</p> <p>(4) 中山間地域の生活の要であるスーパーマーケット閉店の影響</p> <p>◎共助交通がスーパーマーケットのある町まで延長されたが利用者が少ないため、買い物だけの車を出す(買い物ツアー) 企画している。</p>
所見	<p>◎鳥取大学・公立環境大学等の協働により先進的な自動運転開発を取り組んではどうか。</p> <p>◎高齢化、人口減少により運転手不足は益々深刻な問題であるため、自動運転化の早期の実現が望まれる。</p> <p>◎スーパーマーケット閉店による交通弱者への生活支援策が急務である。</p> <p>◎市民生活に密着し、利便性向上に向けた利用者増を上げていくためにもバス運行状況(バスネット)等を含めた情報提供を行うこと。更には横循環の公共交通の充実強化を進めていくべきと思う。</p> <p>◎移住された方が日常の生活圏の公共交通機関の情報が欲しかった。</p> <p>◎試行ではあるが、「とりモビ」は好評価であり、エリア拡大を求める意見があった。</p> <p>◎観光客の公共交通利用促進に向けた観光地の交通拠点化、接続点を整備した交通網を考えてはどうか。</p>



参加者アンケートの集計結果について

Q1 参加者について

1. 年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上			
	0	1	4	7	2	0	4			
2. 地域	鳥取	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	未記入
	14	0	0	0	1	1	1	0	0	1

Q2 会議について

1. 開催場所	良い	悪い	どちらとも いえない	未記入
	17	0	1	0
2. 開催時間帯	良い	悪い	どちらとも いえない	未記入
	15	0	1	2

Q3 議会報告会について

1. 時間の長さ	ちょうど良 い	短い	長い	未記入
	14	3	1	0
2. 内容	分かり やすい	分かり にくい	どちらとも いえない	未記入
	10	2	5	1

3. お気づきの点

- ・報告時間が5～10分長い方が良い。
- ・予算・決算の内容・伝えたいこと(事項)について、知ることができた。
- ・市長メッセージの代読があってもよいかも・・・
- ・資料が簡潔で分かりやすかった。
- ・それぞれの立場の方のお話を伺って参考になりました。
- ・バードハットや風紋広場でのイベントの中など多数の市民がいるところで開催。
- ・年1回とか年数回ではなく、昼、夜、多数開催する。
- ・市報と同じ報告では意味がない
- ・あまり意図を感じられない気がしました。
- ・関係者の出席が多くあまり参考にならない。

Q4 意見交換会について

1. 時間の長さ	ちょうど良 い	短い	長い	
	9	9	0	
2. 進行	良い	悪い	どちらとも いえない	
	15	0	3	
3. テーマ	良い	悪い	どちらとも いえない	
	17	0	0	

4. お気づきの点

- ・時間が1.5倍～2倍、3倍くらいは欲しい
- ・話す内容、流れが分かりやすく話しやすかった。
- ・「SDGs未来都市」についてがテーマでしたが、市全体の範囲において特定の細かいところまで話すことができ
てよかった。
- ・市民と議員がフォーマルな場で話すことのできる機会を定期的に設けることは重要だと思う。
- ・意見が言いやすかった。
- ・話しやすいテーマであった。
- ・話し合いの時間が、たくさん意見が出たので、あと15分あればと思いました。
- ・楽しく話し合いができた
- ・時間があと1時間は必要
- ・今回の意見を議会の場でも活用していただきたい。
- ・もう少し具体的な内容についてお話を伺えたらと思いました。
- ・滞在型観光について、たくさんコンテンツの中より、できることから取り組んでいただくことを期待しています。
- ・人数に対しては時間が短い
- ・目的が分かりづらかった。意見がただの交換会になりそう。
- ・脱線しがちな部分がありましたが、きちんと進行してくださいました。
- ・話し合いの時間が1時間30分はほしい
- ・しっかり政策につなげて行ってほしい。
- ・若い人だから必ずしも良いとは限らない。

Q5 市議会だよりについて

	(人)	(割合)
①よく読む	4	22%
②必要な部分だけ読む	8	44%
③あまり読まない	5	28%
④まったく読まない	0	0%
未記入	1	6%

Q6 市議会だよりに対するご意見・ご要望について

- ・市のラインなどのでくるので、必要ない家庭への配布は不要かと。
- ・文字が多く読みづらい。

Q7 その他、鳥取市議会に対するご意見・ご感想について

- ・引き続き、「未来」のことを意識しながら、「今」を生きている若者を含む誰一人取り残さないという思いを踏まえて議会運営をしていただけたらと思います。
- ・いろんな意見を聞いて勉強になりました。また、市議の方と直接お話ができて、方々の人となりが見えて、より、市政への関心が高まりました。意見交換した内容が引き続きどういう取り組みになったかを見たいです。
- ・少子高齢化によって鳥取市がさらに元気がなくなるのを防いでほしいです。若い世代の行動、発信力を後押しするような支援をお願いします。
- ・市議会を傍聴する機会をもって、市政を身近に実感いたしました。
- ・本日は企画、運営お疲れさまでした。
- ・議会での写真撮影をOKしてほしい。県議会はOKです。
- ・県のタスクフォースのような事業を行っていただきたい。(市民を巻き込み)